



地の塩、世の光



カトリック・ボーイ・スカウト

全国野営大会

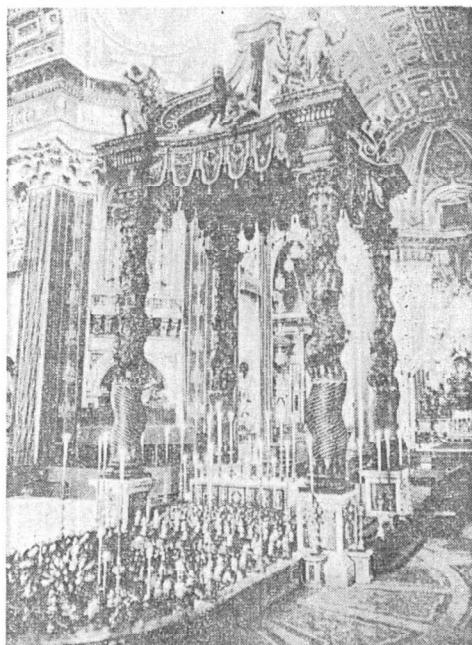
「神と国とに誠実をつくし、他人への献身と奉仕、自己の精練と肉体の訓練に励むことを誓うボーイ・スカウトは、神と人とのよみせられる最も素晴らしい青少年運動である。」

この度、神とスカウティングにおいて、一つの心、一つの精神に結ばれる日本カトリック・ボーイ・スカウトの第一回合同野営大会が行われたことは、まことに意義深いことといわねばならない。

人間が永遠の生命のために生きていることを知っているスカウト諸君は、現代文明の産み出した悪や安易な生活に溺れることなく、名声と享樂を追わず、より高いものを求め、絶えず心を天にあげるように努力しよう。

教皇パウロ六世が、第十一回世界ジャンボリー大会におくられたメッセージより高く、そしてより遠くを求めるようにしよう。

諸君は、『地の塩、世の光』であら。



司教様 三度びローマへ

来る九月十四日（月）よりローマにおいて開かれる第二ヴァチカン公会議の第三会期に出席されるために司教様は、九月四日京都を御出発になり、駐日ヴァチカン公使カーニャ同乗、五日羽田発のSAS特別機でローマに向われた。

尚、第三会期は十一月に閉会となる。

写真説明 聖ペトロ大聖堂の中央
祭壇

パウロ松田師
高野教会助任
バトリック齊木師
伏見教会助任

司祭の異動

桂教会において、新聖堂建設募金のために豪華な懸賞附き抽せん券（一枚五十円）が発売されました。売り切れ早い中に早くお求め下さい。

必ず当る抽せん券 十本に一本

賞品	一等（三本）スパー	二等（八本）ボーナブル電蓄	三等（十六本）パーク一万年筆	四等（二十八本）明視螢光灯	五等（多数）アルベス
×	テープコード	×	×	×	スタンド
×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	×	×

八月九日（日）長野県菅平高原で開催された全国カトリック・ボーイ・スカウト第一回合同野営大会中の日曜日、保護司教古屋司教様の野外ミサにおいてなされた説教の要点である。

当日は、朝からどんよりと曇ってはいたが、雨降りの気配に心配しながらも、むしろ涼しいのを幸い、純然たる野外ミサを期待して祭壇の準備が整えられた。

司教様は、前日夕方より不便な地にお越しになり、同夜は楽しい大宮火にも出席され、元気なスカウト

降り出し、止みそうもないでの、祭壇準備係のスカウト達が大急ぎで祭壇に天幕を張り、予定時刻を少し過ぎてから、司教莊嚴ミサを変更して

九時十分になり、心配した雨が

さして、翌九日の朝八時半に現地に到着、司教の正装で九時のミサ開始まで本部テントに待機された。

された、同夜は山麓の指定旅館に一泊され、翌九日の朝八時半に現地に到着、司教の正装で九時のミサ開始まで本部テントに待機された。

司教様は、前日夕方より不便な地にお越しになり、同夜は楽しい大宮火にも出席され、元気なスカウト

達の余興をご覧になり、「キリスト教的に基づいた善行こそ、眞のスカウトの行動である」とことを力説して

みの雨はスカウト達の意氣を昂め、挨拶され、スカウトの士気を鼓舞された。同夜は山麓の指定旅館に一泊され、翌九日の朝八時半に現地に到着、司教の正装で九時のミサ開始まで本部テントに待機された。

それにもまして、悪地形、悪天候に拘らず、スカウト達のために、御多忙な司教様自ら大会に出席して、全スカウトのために野外ミサを捧げ下さったことは、一層深い感銘を与えた。

達の余興をご覧になり、「キリスト教的に基づいた善行こそ、眞のスカウトの行動である」とことを力説して

みの雨はスカウト達の意氣を昂め、挨拶され、スカウトの士気を鼓舞された。同夜は山麓の指定旅館に一泊され、翌九日の朝八時半に現地に到着、司教の正装で九時のミサ開始まで本部テントに待機された。

それにもまして、悪地形、悪天候に拘らず、スカウト達のために、御多忙な司教様自ら大会に出席して、全スカウトのために野外ミサを捧げ下さったことは、一層深い感銘を与えた。

達の余興をご覧になり、「キリスト教的に基づいた善行こそ、眞のスカウトの行動である」とことを力説して

みの雨はスカウト達の意氣を昂め、挨拶され、スカウトの士気を鼓舞された。同夜は山麓の指定旅館に一泊され、翌九日の朝八時半に現地に到着、司教の正装で九時のミサ開始まで本部テントに待機された。

それにもまして、悪地形、悪天候に拘らず、スカウト達のために、御多忙な司教様自ら大会に出席して、全スカウトのために野外ミサを捧げ下さったことは、一層深い感銘を与えた。

初めての「宗教章」

—カトリック・ボーライ・スカウト—

八月六日(木)より十一日(火)まで、長野県菅平高原において、五泊六日に亘る全国カトリック・ボーライ・スカウトの第一回合同野営大会が行なわれ、京都教区より同CBS(カトリック・ボーライ・スカウト)の保護司教である古屋司教様、全国総指導司祭の岡神父様をはじめ、桂教会の京都第四十八団、奈良教会の奈良第四団、網野教会の竹野第一団のスカウト約五十名が参加した。

加できなかつた団もあり、残念であったが、竹野第一団のシニア・スカウト五名が自転車で八日間を要して馳せ参じた時は、全員の拍手に迎えられ、大いに気炎をあげた。今大会において、キリスト教「宗教章」受章者の選考が行なわれ、受章者十八名の中、全国初の受章者として桂教会の井上幸信君が選ばれた。同宗教章は、一級以上のスカウトで、身につけている一人前のスカウトに、教会の宗教章委員会の選考を経て与えられるもので、スカウトにとっては最高の名誉である。

写真説明 司教様より初の宗教章を受ける井上君(桂教会)と御満悦の岡神父様



伝道士・伝道婦のための黙想会

—於宇治默想の家—

京都教区で働く伝道士、伝道婦のための年の黙想が、宇治のカルメル会「黙想の家」において行なわれた。伝道婦のためには九月十五日から十八日まで、伝道士のためには九月二十二日から二十五日までである。

長野県菅平で行なわれた全国CBS合同野営大会開催中、平日は朝六時半から野営に参加した十六名の司祭により、各所でミサが捧げられた。また、朝から曇って、涼しさを伴う絶好の天気に恵まれたが、いよいよ午前九時のミサ開始時刻が迫った頃からボツリボツリと降り出した雨に禍いされ、設けられた祭壇の附近にだけ大急ぎで天幕を張り、午前九時半になつてからミサが捧げられた。ミサ中雨は本降りになつたが、参列スカウト全員は、ずぶ濡れになりながらも去る者は一人もなく、ミサの途中で司教様が、「スカウトの精神がキリスト教的愛に基づくこと、カトリック・スカウトこそ真のスカウトたること」を力説されるお説教に熱心に

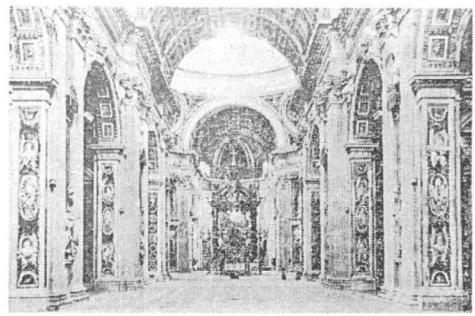
耳を傾けていた。聖体を捧領した者も二百五十名を越える有様で、全員信仰の一致を目の当たりにして、感激も一しおであった。

写真説明 (上)指導者集会 (下左)當大会中の余興仮装行列 (下右)自分達で組立てたやぐらの上から眺めはまた格別であろう

野外ミサ

—全国CBS合同野営大会にて—

長野県菅平で行なわれた全国CBS合同野営大会開催中、平日は朝六時半から野営に参加した十六名の司祭により、各所でミサが捧げられた。また、朝から曇って、涼しさを伴う絶好の天気に恵まれたが、いよいよ午前九時のミサ開始時刻が迫った頃からボツリボツリと降り出した雨に禍いされ、設けられた祭壇の附近にだけ大急ぎで天幕を張り、午前九時半になつてからミサが捧げられた。ミサ中雨は本降りになつたが、参列スカウト全員は、ずぶ濡れになりながらも去る者は一人もなく、ミサの途中で司教様が、「スカウトの精神がキリスト教的愛に基づくこと、カトリック・スカウトこそ真のスカウトたること」を力説されるお説教に熱心に



MEDITATION OF THE MONTH

COME, HOLY GHOST

In the days of the early Church, the Spirit of Light directed the Apostles and guided the infant church through difficult times.

As the third session of the Vatican Council opens let us implore the same Spirit of Light to direct our leaders and to guide the church through times no less difficult.

月の黙想

「聖靈來り給え」

初代教会においては、聖靈が使徒達を照し、問題の多い生れたばかりの教会を正しく導きました。

ヴァチカン公会議の第三会期が始まるにあたり、同じ聖靈が私達の指導者達を照し、問題なく教会を導いて下さるように祈りましょう。

(写真説明) ヴァチカン公会議が行なわれている聖ペトロ大聖堂内部



邦人司祭の黙想会

—於唐崎メリノールハウス—

去る九月七日夕方から十一日夜まで、唐崎にあるメリノール・ハウスにおいて、京都教区邦人司祭のための黙想会が行なわれた。

この黙想会は、毎年九月に行なわれるものであり、今年の指導司祭は、イエズス会のハンス・ヘルベク師であった。

尚、師はカトリック教育協議会理事長である。

秋の行事の写真と

各教会のニュース及び

グループ・ニュースの

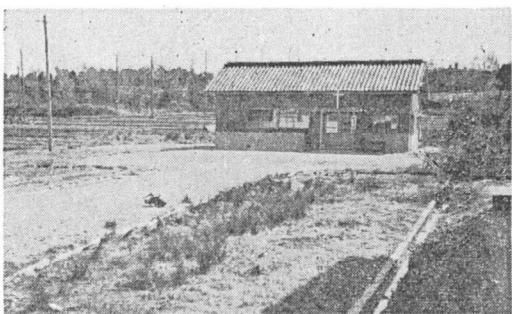
原稿をお待ちしております。

行事予定もどうぞ！

献堂十周年を祝う

—田辺町・聖ヴィアンネ教会—

去る八月十六日（日）、古屋司教様を迎へ、午前十時より田辺教会が一九五四年十二月に献堂されてより十周年目の感謝のごミサが捧げられた。一九四七年（終戦後二年目）頃より、メリノール会のスタンバッ



ク神父様が、川西村や田辺町に布教
伝道を始められてから、実に七年の
歳月を経て一九五四年に、田辺町に
聖堂が建設され、徳久神父様が初代

足を入れられたスタンバッカ神父様、その他同教会のために尽されたる数人の神父様が出席され、また町長、村長様も出席されて、教会の祭展を祈願された。

主任司祭として着任、一九六二年まで八年間に亘り司牧され、多くの感化を与えた。一九六二年より高橋神父様が主任司祭として引き継がれ、現在に至る。

発したこの港を旅し、
日を回顧すれば、誠に
を憐れと思わざるを得
ます。

「一行は懐しの家路に急ぎ、今薄の行事は恙なく終ろうとしている。」
「若狭の海にきらめくマリアの星す。
そして在りしこの世の無謀ないのであり

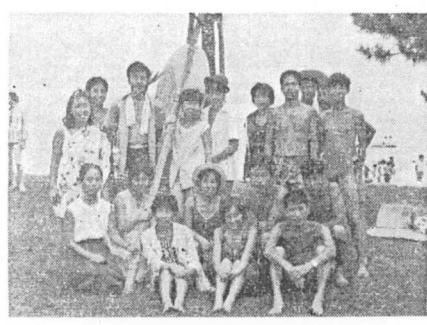
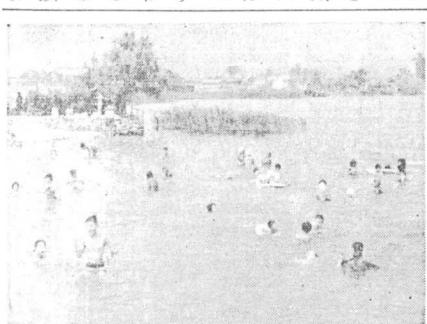
春よ
し奉る。
われら来る日も汝がよき下僕とし
てまめやかに仕へぞ得ることをのぞ
ほみつゝ。

賑やかだつた坂本教会

滋賀県琵琶湖畔の坂本教会は、毎年七月の如く、八月下旬にかけて、夏のリクレーションのために大いに賑わった。利用者のグループは、主として区内各教会であったが、その他に大阪教区から御受難会の修道士、有

施、茨木、今市等の各教会からも使用の申し込みがあり、また京大、第一二日赤も毎年利用している。

写真説明 各教会の坂本での日曜
日のいこい



薄暮の海水浴 —西舞鶴レジオ・マリエ—

写真説明 十年前の旧仮聖堂及び現

在の聖堂

在の聖堂

庄からり、次第に松に渋山の実を結んで、
ようやく、現在の信者が心を併せるこ
とによつて、神様の御国が広まるよ
うにお祈りしています」と述べられ
た。

辰を祈願された。

足を入れられたスタイルの神父様、その他同教会のために尽された数人の神父様が出席され、また町長、村長様も出席されて、教会の祭

われわれの思いとはうらはらに、船脚を速めた船体の衝動を強く感じると、目的地の岩礁が眼前に

く一行は懐しの家路に急ぎ、今薄の行事は恙なく終ろうとしています。

